

# 東京放射線

2017年7・8月合併号

Vol.64 No.752



公益社団法人 東京都診療放射線技師会  
<http://www.tart.jp/>

卷頭言	進みて名を求めず 篠原健一
会告	第68回日暮里塾ワンコインセミナー 平成29年度城東支部研修会
連載	第69回日暮里塾ワンコインセミナー 第70回日暮里塾ワンコインセミナー
お知らせ	第16回サマーセミナー 平成29年度第4地区研修会
叙勲	第16回サマーセミナー 平成29年度第4地区研修会
瑞宝双光章	第16回サマーセミナー 平成29年度第4地区研修会
連載	「急性疾患アラカルト」第一部 急性腹症「胆石症」岡本淳一
登録事項変更届	「急性疾患アラカルト」第一部 急性腹症「胆石症」岡本淳一
研修会等申込書	「急性疾患アラカルト」第一部 急性腹症「胆石症」岡本淳一

# 診療放射線技師 業務標準化宣言

いま我が国では「安心で安全な医療の提供」が国民から求められている。そして厚生医療の基本である「医療の質の向上」に向けて全ての医療職種が参加し、恒常的に活動をする必要がある。

私達が携わる放射線技術及び医用画像技術を含む診療放射線技師業務全般についても、国民から信頼される普遍的な安全技術を用いて、公開しなくてはならない。そして近年、グローバルスタンダードの潮流として、EBM (Evidence Based Medicine)、インフォームドコンセント、リスクマネジメント、医療文化の醸成、地球環境保全なども重要な社会的要項となっている。

公益社団法人東京都診療放射線技師会では、『国民から信頼され選ばれる医療』の一員を目指し、診療放射線技師の役割を明確にするとともに、各種業務の標準化システム構築を宣言する。

診療放射線技師業務標準化には以下の項目が含まれるものとする。

1. ペイシェントケア
2. 技術、知識の利用
3. 被ばく管理（最適化／低減）
4. 品質管理
5. 機器管理（始終業点検／保守／メンテナンス）
6. 個人情報管理（守秘／保護／保管）
7. 教育（日常教育／訓練／生涯教育）
8. リスクマネジメント
  - ～患者識別
  - ～事故防止
  - ～感染防止
  - ～災害時対応
9. 環境マネジメント（地球環境保全）
10. 評価システムの構築

公益社団法人 東京都診療放射線技師会

# 診療放射線技師のための接遇規範

1. 検査に際しては明瞭で分かりやすい言葉（患者さんの分かる言葉）で話す。
2. 患者さんをお呼びするときは、姓・名を確認する。
3. お年寄り、歩行困難、病状の悪い患者さんに対する検査室のドアの開閉は、特に技師がおこなう。
4. 検査室入室後は、患者さんから目を離さないようにする。
5. 自分の名前を名乗り、検査部位と撮影回数を説明し、患者さんの同意を得てから検査をおこなう。特に小児やお年寄りの方で検査介助が必要なときは、十分な説明をおこない同意を得てから検査の介助をしていただく。
6. 脱衣の必要な検査は、検査着に着替えていただく。検査の特殊性から脱衣が必要なときは、露出部をバスタオルなどで覆う。
7. 検査台の乗り降りは、原則として患者さんの手の届くところに技師がいる。
8. 検査手順を守り、患者さんの身体に手が触れるときは事前に同意を得てから触れる。
9. できるだけ短時間で検査を終了し、「お疲れさまでした」等の癒しの言葉を述べる。
10. 検査室から患者さんが退出するまでは技師の責任である。
11. 検査室は常に整理整頓、清潔であること。
12. 仕業（始業・終業）点検は毎日おこなう。
13. 検査部位ごとの被ばく線量はいつでも答えられるようにしておく。
14. 照射録は正確に記載する。
15. 医療人として患者さんから高い信頼を得られるよう努力する。

公益社団法人 東京都診療放射線技師会

スローガン

チーム医療を推進し、  
国民及び世界に貢献する  
診療放射線技師の育成

2017年  
JUL・AUG  
CONTENTS

目 次

診療放射線技師業務標準化宣言	1
診療放射線技師のための接遇規範	2
巻頭言 進みて名を求めず	4
会告1 第68回日暮里塾ワンコインセミナー	5
会告2 平成29年度業務拡大に伴う統一講習会	6
会告3 平成29年度城東支部研修会	8
会告4 第69回日暮里塾ワンコインセミナー	9
会告5 第70回日暮里塾ワンコインセミナー	10
会告6 第16回サマーセミナー	11
会告7 第71回日暮里塾ワンコインセミナー	12
会告8 第72回日暮里塾ワンコインセミナー	13
会告9 第17回公益社団法人東京都診療放射線技師会、 公益社団法人日本放射線技術学会東京支部合同学術講演会	14
会告10 第16回城北支部研修会	15
お知らせ1 平成29年度第4地区研修会	16
お知らせ2 東放技会員所属地区のご案内	17
叙 勲 瑞宝双光章	18
連 載 学術が行く～急性疾患アラカルト～ 第一部 急性腹症「胆石症」	20
こ え ・第6地区meetingに参加して	24
・第6地区ミーティングに参加して	25
・平成28年度SR推進委員会(公益・災害)研修会に参加して	26
・ピンクリボンウォーク2017に参加して	27
・第1地区研修会に参加して	28
編集ルポルタージュ 筋肉スグルのビルトアップ!! ~株式会社キタジマに潜入の巻~	29
パイプライン ・平成29年度第1回関東Angio研究会	32
・超音波画像研究会 第250回定例会	33
・南関東FRT第3回研修会	34
・第33回日本診療放射線技師学術大会	35
平成29年度5月期会員動向	36
平成29年度第2回理事会報告	37
研修会等申込書	41
登録事項変更届	42
<hr/> Column & Information	
・イエローケーキ	36
・学術講演会・研修会等の開催予定	40

# 卷頭言



## 進みて名を求めず

会長 篠原健一

6年前の7・8月合併号卷頭言では、「気概を持っているか」という題で、荒川放水路開削を指揮した青山士（あきら）のことを書いた。かのパナマ運河建設に携わった唯一の日本人である。青山は、「私はこの世を、私が生まれた時よりもより良くして残したい」と生前良く語っていたということを記した。そして「このような信念と気概を持って会務運営を行いたいと思う」と締めくくった。

当時は本会をお預かりして間もないころで、まだ2回目の卷頭言ということもあるが、毎年7・8月合併号卷頭言を書く頃は、総会などを控え慌ただしく、それなりに気負う時期でもある。特に今年度は、6月2日（金）に公益社団法人日本診療放射線技師会創立70周年記念式典、6月3日（土）は同第78回定期総会、6月18日（日）は本会主催の第15回ペイシエントケア学術大会および第68回定期総会、6月24日（土）～25日（日）は平成29年度関東甲信越診療放射線技師学術大会（長野大会）と続いた。会員、役員、関係者の皆さんには各事業の運営、推進に多大なご尽力をいただき感謝申し上げる次第であるが、その中でも二つのことを特記しておきたい。

一つ目は、本会第68回定期総会における定款改正（代議員制移行）である。本会は、昭和25年の創立以来、最高意思決定機関である総会の構成を「正会員」としてきた。これは行政の指導に基づくものでもあったが、総会成立要件（定足数）である過半数（定款改正時は総会員の2/3以上）の出席は現実的には無理であり、実質は事前の書面評決・委任状で成立している。このこと自体は何ら問題なく、定款に基づいた民主的な手続きであるが、実際の総会出席者数をはるかに上回る「書面評決」によって議事が決するということに永年积淀としないものがあったことも事実であった。約1年をかけて定款諸規程等検討委員会で素案を練り、理事会審議後平成29年1月15日～2月28日までホームページにてパブリックコメントを受け付けた。そして今総会にて定款改正案を上程し、総会の「代議員制移行」が決議された。創立以来の大きな節目となった。

二つ目は、本会のスローガンに基づく国際化・国際交流事業の一環として、昨年「学術交流協定」を締結したソウル特別市放射線士会（SRTA）の安美燮会長はじめ6名の視察団を関東甲信越診療放射線技師学術大会にお迎えしたことである。ペイシエントケア学術大会を除き、本会単独での学術大会を開催していないため、長野県実行委員会のご協力の下実現したものである。今後、SRTA学術大会における発表者（English）の公募、関東甲信越診療放射線技師学術大会におけるSRTA側発表者の持続的受け入れなど具体的に取り組んでいく端緒としたい。

先述の青山は、太平洋戦争中にパナマ運河の攻撃を計画していた大日本帝国海軍から、パナマ運河についての情報提供を求められた際、「私は造ることは知っているが壊し方は知らない」と答えたという。土木技術者の良心に基づき拒否したとされるが、戦時中になかなか言えるものではないと思う。

また、6年前にも記したが、青山および工事関係者一同が、工事の犠牲者を弔うために資金を出し合って荒川放水路完成記念碑を岩淵の水門の傍に建てたが、そこには「此ノ工事ノ完成ニアタリ多ナル犠牲ト労役トヲ払ヒタル、我等ノ仲間ヲ記憶センカ爲ニ」のみ記され、青山の名前は刻まれていない。「関係者全員による努力の結果完成したものであり、特定の個人の名前を記念碑に記すべきではない」とする彼の思想であるという。

進みて名を求めず 退いて罪を避けず（孫子）

## 第68回日暮里塾ワンコインセミナー

テーマ「明日から役立つ知識～早期胃がん(微細病変の描出手技)～」

講師：東葛病院 安藤 健一 氏

今回は胃X線検査を取り上げます。

検査を行っていて微小粘膜異常を発見した際にどのように撮影して良いか分からず、バリウムが流出して上手く描出できなかったという経験の方も多いかと思います。今回は微小病変の撮影手技について勉強したいと思います。

初心者の方も大いに参考になると思います。多くの方のご参加をお待ちしております。

### 記

日 時：平成29年7月5日（水）19時00分～20時30分

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

受 講 料：会員500円、非会員3,000円

新卒かつ新入会員\*、一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“学術教育委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修1.5カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail : [gakujitu@tart.jp](mailto:gakujitu@tart.jp)

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX : 03-3806-7724

以上



\* 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

# 会 告

## 2

## 平成29年度業務拡大に伴う統一講習会

主催：公益社団法人日本診療放射線技師会 実施：公益社団法人東京都診療放射線技師会

診療放射線技師法が平成26年6月18日に一部改正され、平成27年4月1日施行されました。具体的には、CT・MRI検査等での自動注入器による造影剤の注入、造影剤注入後の抜針・止血、下部消化管検査の実施（ネラトンチューブ挿入も含めて）、画像誘導放射線治療時の腸内ガスの吸引のためのチューブ挿入であり、診療放射線技師の業務内容が拡大しました。以上の業務を行うための条件として、医療の安全を担保することが求められています。この業務拡大に伴う必要な知識、技能、態度を習得することを目標とし、“業務拡大に伴う統一講習会”と称し、2日間にわたり実施することとしました。

本講習は厚生労働省と公益社団法人日本診療放射線技師会が検討したカリキュラムに従い、都道府県放射線技師会が講習会を運営し、一定レベルの講習会を全ての診療放射線技師が受講できる環境を提供することを目的としています。平成29年度の本会においての予定は下記の通りです。

### 記

受 講 料：会 員 15,000円、非会員 60,000円

但し、各種講習受講者減免として

会 員 静脈受講者：13,000円、注腸受講者： 5,000円、静脈注腸受講者： 3,000円

非会員 静脈受講者：50,000円、注腸受講者：35,000円、静脈注腸受講者：15,000円

申込方法：JART情報システム内のイベント申込メニューから申し込むこと。

注）東放技事務局および東放技HPからのお申し込みはできません。

申込み期間：各講習会開催初日の2週間前を締切とします。

受講料振込等：申し込み後、日放技より振込み先の案内があります。

講習会修了基準：次のいずれかに該当する場合は、修了とみなしません。

ア) 講習時間15単位（1単位50分）に対し、欠課の合計時間が45分を超えた場合

イ) 欠課が15分を超えたコマが1つ以上あった場合

生涯学習カウント：修了者は「学術研修活動」カウントが付与されます。

第1回 ※終了しました

日 時：平成29年5月13日（土）、14日（日）

場 所：首都大学東京 荒川キャンパス

第2回 ※申し込みは終了しました

日 時：平成29年7月8日（土）、9日（日）

場 所：中野サンプラザ 研修室

### 第3回

日 時：平成29年9月16日（土）8時50分～17時10分（受付開始8時30分～）

平成29年9月17日（日）8時30分～17時30分

場 所：駒澤大学 駒沢キャンパス

東京都世田谷区駒沢1-23-1

ア ク セス：田園都市線 駒沢大学駅より 徒歩約10分

募 集 人 数：100名

### 第4回

日 時：平成29年11月11日（土）8時50分～17時10分（受付開始8時30分～）

平成29年11月12日（日）8時30分～17時30分

場 所：三鷹産業プラザ 会議室

東京都三鷹市下連雀3-38-4 三鷹産業プラザ

ア ク セス：JR中央線・総武線 三鷹駅南口より 徒歩約8分

募 集 人 数：100名

### 第5回

日 時：平成30年1月20日（土）8時50分～17時10分（受付開始8時30分～）

平成30年1月21日（日）8時30分～17時30分

場 所：首都大学東京 荒川キャンパス

東京都荒川区東尾久7-2-10

ア ク セス：日暮里・舎人ライナー 熊野前駅より 徒歩約3分

募 集 人 数：100名

### 第6回

日 時：平成30年3月3日（土）8時50分～17時10分（受付開始8時30分～）

平成30年3月4日（日）8時30分～17時30分

場 所：会場調整中

ア ク セス：未定

募 集 人 数：100名

以上

# 会 告

## 3

### 平成29年度 城東支部研修会

#### 「デジタルシステムの撮影条件について ～アナログシステムからCR、FPDシステムへ～」

講師：富士フィルムメディカル株式会社 MS部 東日本MSセンター 大島 裕二 氏

城東支部では下記の通りに研修会を開催します。

近年、CRやFPDなどの普及により、放射線診断画像のデジタル化が一般的になっていると思います。それにより、簡単に最適な画像を得ることができるようになってきました。しかしながらフィルムで撮影していた頃と比べ、撮影条件に対してあまり考慮しなくなっているようにも思われます。患者に対する被ばく線量を管理している診療放射線技師にとって由々しきことだと思います。

そこで今回は、デジタル画像においていかに読影に必要な画質を担保しつつ、被ばくの少ない撮影条件を決めていく方法について、メーカーの方の意見を聞きながら必要な知識を深めていきたいと思います。

若い診療放射線技師の方をはじめ、多くの皆さんに聞いていただきたいと思っております。奮ってのご参加をお待ちしております。

#### 記

日 時：平成29年7月21日（金）19時00分～20時30分（受付開始18時30分～）  
場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター  
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：診療放射線技師1,000円  
新卒かつ新入会員\*、一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“城東支部”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。（当日参加も可能です）

問い合わせ：城東支部委員会 E-Mail : [shibu\\_jyoutou@tart.jp](mailto:shibu_jyoutou@tart.jp)

第1地区委員長（城東支部委員長） 齊藤謙一

第2地区委員長 関谷 薫

第7地区委員長 富丸佳一

第14地区委員長 宮谷勝巳

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX : 03-3806-7724

以上



\* 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

## 第69回日暮里塾ワンコインセミナー テーマ「明日から役立つ知識～四肢CT～」

講師：三井記念病院 皆川 利浩 氏

今回の日暮里塾ワンコインセミナーは、趣向をやや変えて「四肢CT」の内容で2日連続開催を致します。1日目は上肢（肩関節、肘関節、手関節）、2日目は下肢（股関節、膝関節、足関節）を特集します。昨今、「四肢CT」は増加傾向にある一方、撮影体位、撮影条件、画像解析など標準化されているようで、されていないところがあります。今回は基礎的なことを中心に良好な画質を取得するためのコツを解説していただきたいと思います。受講料は2日間で通常の1回分です。

多くの方のご参加をお待ちしております。

### ～ プログラム～

8月24日（木） 19:00～20:30 上肢（肩関節、肘関節、手関節）

8月25日（金） 19:00～20:30 下肢（股関節、膝関節、足関節）

### 記

日 時：平成29年8月24日（木）・25日（金）19時00分～20時30分（受付開始18時30分～）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

定 員：50名（先着順）

受 講 料：会員500円、非会員3,000円（2日間分の受講料・1日のみでも同額の受講料となります）

新卒かつ新入会員\*、一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“学術教育委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。（当日参加も可能です）

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修3.0カウント付与（2日間参加におけるカウント）

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：[gakujitu@tart.jp](mailto:gakujitu@tart.jp)

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

\* 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

# 会 告

## 5

### 第70回日暮里塾ワンコインセミナー

#### テーマ「明日から役立つ知識～四肢MRI～」

講師：杏林大学医学部付属病院 濱田 健司 氏

今回も日暮里塾ワンコインセミナーは、趣向をやや変えて「四肢MRI」の内容で2日連続で開催致します。

1日目は上肢（肩関節、肘関節、手関節）、2日目は下肢（股関節、膝関節、足関節）を特集します。

検査時のポジショニング、使用コイル、撮像方向（axial、coronal、sagittal）など、迷う時があるかと思います。また疾患によっても撮像方向、撮像シーケンスなどにも工夫が必要かと思います。今回は基礎的なことを中心に、良好な画質を取得するためのコツを解説していただきたいと思います。受講料は2日間で通常の1回分です。

多くの方のご参加をお待ちしております。

#### ～ プログラム ～

8月29日（火） 19:00～20:30 上肢（肩関節、肘関節、手関節）

8月30日（水） 19:00～20:30 下肢（股関節、膝関節、足関節）

#### 記

日 時：平成29年8月29日（火）・30日（水）19時00分～20時30分（受付開始18時30分～）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

定 員：50名（先着順）

受 講 料：会員500円、非会員3,000円（2日間分の受講料・1日のみでも同額の受講料となります）

新卒かつ新入会員\*、一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“学術教育委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。（当日参加も可能です）

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修3.0カウント付与（2日間参加におけるカウント）

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：[gakujitu@tart.jp](mailto:gakujitu@tart.jp)

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

\* 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

## 第16回 サマーセミナー テーマ「肺がんを理解する」

肺がんの死亡率は死因のトップであり、各方面で種々な取り組みが行われています。

われわれも基本に立ち返り、日常最も多く使用する胸部撮影、CT撮影を中心に解剖や病理、腫瘍マーカー、そして最新の放射線治療の現状などを拝聴し、肺がんへの理解を深めたいと思います。  
多くの方のご参加をお待ちしております。

### ～ プログラム ～

15:00～15:20	解剖	東邦大学医療センター大橋病院	南山 諒輔
15:20～15:50	肺がんと病理、腫瘍マーカー	東京医科大学病院	三宅 真司
16:00～16:20 ブレイクタイム「BoneSuppression処理（肋骨減弱処理）の紹介」			
16:30～17:30 肺がんと画像（特徴的画像所見を中心に）			
1. 胸部単純画像編	公立福生病院	野中 孝志	
2. CT編	日本大学医学部附属板橋病院	市川 篤志	
17:30～18:00 肺がんと放射線治療	東京医科大学病院	小林 浩之	

### 記

日 時：平成29年9月2日（土）15時00分～18時00分

会 場：東京医科大学病院 教育研究棟 3階第1講堂

ア ク セス：JR新宿駅西口下車 徒歩約15分

都営大江戸線 都庁駅前駅下車 徒歩約7分

東京メトロ丸の内線 西新宿駅下車 徒歩約1分

定 員：100名（先着順）

参 加 費：会員1,000円、非会員5,000円

新卒かつ新入会員\*、一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“学術教育委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修3.0カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail : [gakujitu@tart.jp](mailto:gakujitu@tart.jp)

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX : 03-3806-7724

以上

\* 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

## 第71回日暮里塾ワンコインセミナー

### テーマ「明日から役立つ知識～Image-Jの基礎の基礎～」

講師：学校法人北里研究所北里大学メディカルセンター 今花 仁人 氏

今回はImage-Jを取り上げます。

学会発表などでは必須のツールとして用いられていますが、実際に使用する際に迷うこともしばしばあるかと思います。今回はこれから学会発表を行う方や、ちょっと苦手という方を対象に実践形式でじっくり行います。

※参加する方は、あらかじめExcel および Image-J（インストール）が使用できる状態にしてご参加をお願いします。

#### ～内 容～

- ・ツールバーの説明と画像の表示・保存
- ・画像計測の基礎（ROIマネージャを用いた計測）
- ・実空間および周波数空間におけるフィルタ処理
- ・マクロによる処理解析の効率化

※実際の医用画像を用いて演習を行いながら講義を進めていく予定です。

#### 記

日 時：平成29年9月16日（土）15時00分～17時00分

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

定 員：30名（先着順）

受 講 料：会員500円、非会員3,000円

新卒かつ新入会員\*、一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“学術教育委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。（当日参加も可能です）

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修2.0カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：[gakujitu@tart.jp](mailto:gakujitu@tart.jp)

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

## 第72回日暮里塾ワンコインセミナー

### テーマ「明日から役立つ知識～骨密度と骨質評価～」

講師：東洋メディック株式会社 野中 希一 氏

1980年代は、高齢になれば骨が脆くなるのは仕方がなく、骨密度を測定して何になるのかといった声が多く聞かれましたが、今では、社会的な背景もあり骨折予防のために骨密度測定装置が国内で広く使用されるようになりました。

はじめに、骨密度測定装置の歴史と原理を簡単に振り返った後に、骨折リスク評価・治療の経過観察・続発性骨粗鬆症の評価などの観点から異なる部位の骨密度にどのような差異があるかを示し、さらに同様の観点から“骨質”評価について概観します。

#### 記

日 時：平成29年9月27日（水）19時00分～20時30分

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

定 員：50名（先着順）

受 講 料：会員500円、非会員3,000円

新卒かつ新入会員\*、一般ならびに学生 無料

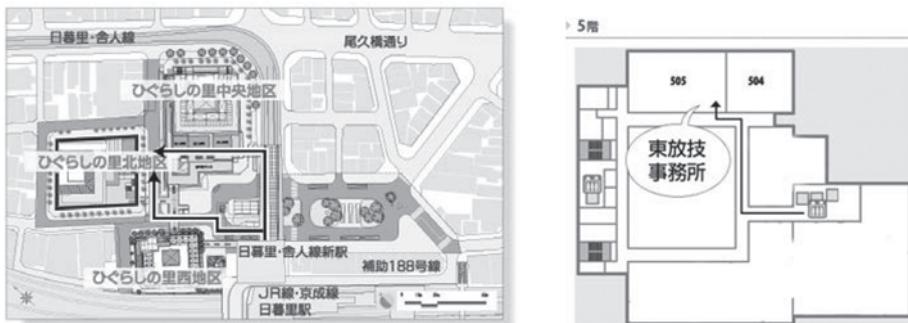
申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“学術教育委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。（当日参加も可能です）

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修1.5カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：[gakujitu@tart.jp](mailto:gakujitu@tart.jp)

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上



\* 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

# 会 告

## 9

### 第17回 公益社団法人東京都診療放射線技師会 公益社団法人日本放射線技術学会東京支部 合同学術講演会

#### 講演 I 【ミニレクチャー】

テーマ「最新の画像解析による画像診断支援への取り組み」

講 師：キヤノン株式会社 山道 淳太 氏

#### 講演 II 【特別講演】

テーマ「人工知能を活かした放射線治療」

講 師：駒澤大学 医療健康科学部 診療放射線技術科学科 馬込 大貴 先生

大量のデータの非線形な関係をコンピュータに学習させる、人工知能や機械学習と呼ばれる分野の発展は目覚ましい。放射線医療の分野においても日々の診療において膨大なデータが蓄積されており、これらのデータを人工知能・機械学習技術に基づき解析することで、有効に活用できる可能性がある。本講演では、機械学習技術を用いて医療データベースを分析するいくつかの研究を紹介し、放射線治療後の予後予測の可能性について論じる。

#### 記

日 時：平成29年9月30日（土）16時00分～18時00分

会 場：JR東京総合病院 病棟地下1階講堂 〒151-8528 渋谷区代々木二丁目1番3号

ア クセス：JR新宿駅 南口・甲州街道改札・新南改札より徒歩5分

JR代々木駅 北口より徒歩5分

都営大江戸線新宿駅 A1出口より徒歩1分

小田急線南新宿駅より徒歩5分

参 加 費：会員1,000円、非会員2,000円

新卒かつ新入会員\*、一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“学術教育委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail : [gakujitu@tart.jp](mailto:gakujitu@tart.jp)

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX : 03-3806-7724

以上

\* 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

## 第16回城北支部研修会

### テーマ「医療現場における子どもとの関わり方について」

講師：博慈会記念総合病院小児センター 医療保育専門士 河野 拓二 氏

検査・処置・治療時や外来、入院生活の場面などで、泣いたり拒否したり逃げたりする子どもへの対応に苦慮したことはありませんか。今回は、小児対応の専門職である医療専任の保育士が、子どもへの上手なかかわり方のコツを伝授します！ 職種や施設問わずにどんな人でもご参加いただけます。

子供たちに笑顔で検査を終えてもらえるように!! ビバ!! 勉強!!



#### 記

日 時：平成29年10月27日（金）19時00分～20時00分（受付開始18時30分～）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：診療放射線技師1,000円

新卒かつ新入会員\*、一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“城北支部”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。（当日参加も可能です）

情報交換会：近隣にて（当日ご案内致します）

問い合わせ：城北支部委員会 E-Mail : [shibu\\_jyouhoku@tart.jp](mailto:shibu_jyouhoku@tart.jp)

第5地区委員長 稲毛秀一

第6地区委員長 高橋克行

第16地区委員長 工藤年男

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX : 03-3806-7724

以上

\* 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

# お知らせ

## 1

### 平成29年度 第4地区研修会

テーマ 「いまさら聞けない 造影剤、その効果とは！」

講師：株式会社根本杏林堂 市川 卓 先生  
株式会社根本杏林堂 杉原 博 先生

今回の研修会は、“いまさら聞けない”シリーズを復活することになりました。

講演は、CT・MRIの造影剤にスポットを当て、造影剤が組織を濃染させる現在の新事実から始まり、CTでは注入時のポイント、MRIでは重篤な副作用、そして最新の情報まで盛りだくさんの内容で勉強をしようと考えております。

造影剤についてはさまざまな勉強会で多岐に周知のことだと思いますが、造影剤開発のプロの講演を聞いて、再度勉強してみてはどうでしょうか？ きっと再発見があると思います。

会員・非会員を問わずお誘いあわせの上、多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

#### 記

日 時：平成29年8月18日（金）19時00分～（受付開始18時30分～）

場 所：東京慈恵会医科大学附属病院 高木2号館（地下1階）

受 講 料：診療放射線技師500円

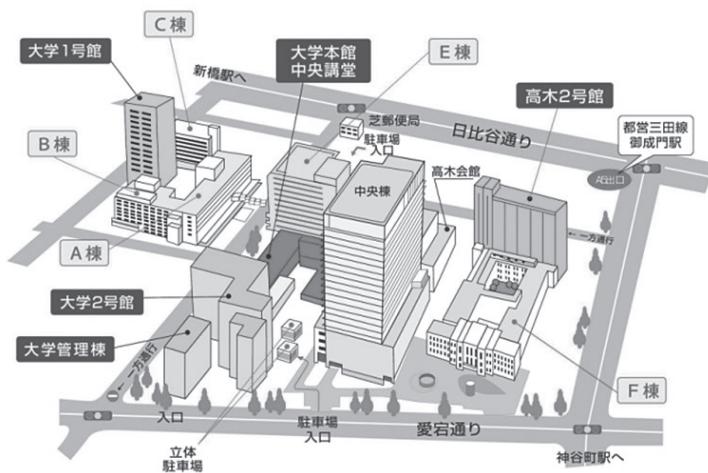
新卒かつ新入会員\*、一般ならびに学生 無料

申込方法：氏名・地区名・勤務先を記載の上、メールアドレス (area04@tart.jp) でお申し込みください。

もしくは東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“4地区”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

問い合わせ：第4地区委員長 竹安直行 E-Mail：area04@tart.jp

以上



\* 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

## あなたはご自分の所属地区をご存じですか？

東京都診療放射線技師会は、東京を13の地区に分け、東京に隣接する千葉方面・神奈川方面・埼玉方面を加えた計16地区で構成されています。

本会ホームページhttp://www.tart.jp/に各地区の表と地図が掲載されていますので、ぜひ活用ください。

東京都診療放射線技師会からのお知らせ

お知らせ

地区紹介ページ

2014年度  
研修会・イベント等の開催予定

会員登録

入会のご案内

入会のご案内

トップページの  
ここをクリック

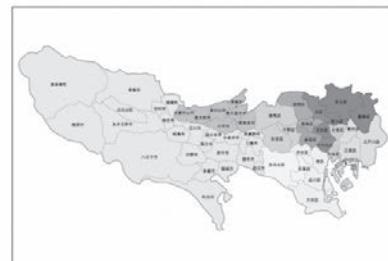
なお、毎月月替りで、各地区の特色や活動を紹介しています。  
地区表の上の地区名からリンクしていますので、こちらもぜひご覧ください。

### 情報委員会



第1地区	第5地区	第9地区	第13地区
第2地区	第6地区	第10地区	第14地区
第3地区	第7地区	第11地区	第15地区
第4地区	第8地区	第12地区	第16地区

城東支部	第1地区	千代田区	
	第2地区	中央区	台東区
	第3地区	豊田区	江戸川区
	第4地区	千葉方面地区	江東区
	第5地区	港区	墨田区
	第6地区	品川区	大田区
	第7地区	世田谷区	目黒区
	第8地区	世田谷区	神奈川方面地区
	第9地区	大田区	神奈川地域
城南支部	第10地区	新宿区	
	第11地区	板橋区	
	第12地区	練馬区	杉並区
	第13地区	文京区	
	第14地区	墨田区	豊島区
	第15地区	江戸川区	
多摩支部	第16地区	埼玉方面地区	埼玉地域
	第1地区	西東京市	東久留米市
	第2地区	清瀬市	小平市
	第3地区	東村山市	東大和市
	第4地区	武蔵村山市	
	第5地区	上記、第12地区以外の多摩地域	



# 叙勲 瑞宝双光章 受章



医療法人社団康生会 シーエスケー・クリニック新橋 技師長

たけ だ かず おみ  
**武田 一臣**

昭和26年7月29日生（65歳）

## 経歴

昭和46年 4月	城西放射線技術専門学校	入学
昭和49年 3月	同	卒業

## 職歴

昭和49年 7月	昭和大学藤が丘病院	入職
昭和52年12月	同	退職
昭和53年 1月	PL東京健康管理センター	入職
平成17年 9月	同	退職
平成17年 9月	医療法人社団康生会 シーエスケー・クリニック新橋	入職
	現在に至る	

## 団体歴

平成元年 4月～平成 7年3月	社団法人東京都診療放射線技師会	第4地区委員
平成 2年11月	社団法人東京都診療放射線技師会	40周年記念誌編纂委員
平成 3年 4月～平成 7年 3月	社団法人東京都診療放射線技師会	経理幹事
平成 7年 4月～平成11年 3月	社団法人東京都診療放射線技師会	理事（第4地区委員長）
平成11年 4月～平成21年 3月	社団法人東京都診療放射線技師会	第4地区委員
平成12年12月	社団法人東京都診療放射線技師会	50周年記念誌編纂委員
平成15年 6月～	JJN（J：城西放射線技術専門学校・J：城西医療技術専門学校・N：日本医療科学大学）同窓会会长	

## 賞罰歴

平成 7年 5月28日	功労賞（勤続20年表彰）：社団法人東京都放射線技師会
平成15年 6月15日	小野賞：社団法人東京都放射線技師会
平成17年 6月 3日	永年勤続表彰（勤続30年表彰）：社団法人日本放射線技師会
平成25年10月 1日	東京都功労者表彰（労働精励）

## 叙勲を受けて

武田一臣

このたび、公益社団法人東京都診療放射線技師会のご推薦をいただき、平成29年春の叙勲に際し、瑞宝双光章を受章致しました。平成29年5月2日東京都庁第一本庁舎7階ホールにて小池百合子都知事より直接、瑞宝双光章の勲記（賞状）・勲章の伝達を受けました。翌11日厚生労働省にて祝辞等の式典を行い、勲章を着用して用意されたバスにて皇居へ向かい、「春秋の間」にて天皇陛下に拝謁致しました。

このたびの受章にあたり東京都診療放射線技師会の篠原健一会長はじめ役員の皆さま、そして書類作成にあたっては高野修彰様には多大なるご指導を賜りました。あらためて厚くお礼を申し上げます。

私は昔から予防医学に従事して参りました。当初は船の点検修理を目的とした「ドック」という言葉を引用して「人間ドック」という言葉が流行し、やがて「健診」、「総合健診」へとかわっていきました。国民の健康への関心の高まりを反映して受診者数も毎年右肩上がりに増えていきました。超音波装置が世に始めたころ、乳腺の検査方法について悩んだ時期がありました。当時の表在性の検査補助器具は大きなビニール袋に大量の水（脱気水）を入れたもので、大きくて観察に苦労致しました。そこで悩んだ末に工夫したのが脱気水をコンドームに注入し、アクリルを加工して作った容器におさめたことで、腹部用の探触子と同じように扱えるようになりました。超音波専門医から絶賛され、やがて女性の受診者全員に乳腺の検査を実施することが可能となりました。懐かしい思い出です。

技師会活動では長らく第4地区の地区委員を務め、途中地区理事も経験させていただきました。40・50周年行事での記念誌発行では、編纂委員としてお手伝いをさせていただきました。現在は城西放射線技師学校（池袋校と旧埼玉校）と日本医療科学大学の同窓会会長として活動させていただいております。これからも技師会活動で学んだことを生かしながら、活動を続けさせていただきたいと思います。

最後に今後とも公益社団法人東京都診療放射線技師会の益々のご発展と、会員の皆さまのご健康とご活躍をお祈り申し上げ、お礼と感謝の言葉に代えさせていただきます。ありがとうございました。

## 武田一臣様 叙勲の祝辞

会長 篠原健一

この度の平成29年度春の叙勲におきまして、本会会員として多年にわたりご活躍された武田一臣様が瑞宝双光章を受章されましたことをご報告し、心よりお祝いを申しあげます。このことは都民の医療・福祉の第一線で活動している本会会員にとりましてもまことに誇りと名誉ある受章であり慶びに堪えません。

武田様は昭和49年に城西放射線技術専門学校を卒業され診療放射線技師免許を取得されて以来39年以上の永きにわたり診療放射線技師として予防医学である健診業務を中心にこの道一筋に奉職されました。健診効率・健診精度・経済性・安全性の4つを目標に掲げ、受診者数の増加にあっても質を落とすことなく診断価値のある画像を提供するべく努力を重ねられました。

本会でも第4地区の地区委員（22年）、地区理事（4年）、経理幹事などを歴任され、本会40周年・50周年にはそれぞれ記念誌編纂委員を務められる等多大なる貢献をされました。

現在も、JJN同窓会会長（旧城西放射線技師学校）として全国を回られるなど、武田様は常に無私の精神を根底に活動を続けられており、常々敬服致しております。

この度の武田様の受章は、診療放射線従事者としての国民医療・地域医療に対する功績が高く評価されたものであります。今後とも本会の発展と後進のために更なるご指導を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、武田様の益々のご健勝をお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

# 第一部 急性腹症 胆石症

東京医科大学病院 岡本 淳一

サマーセミナーやウィンターセミナーでご好評をいただいた「急性疾患アラカルト」が、3つの領域と各回それぞれにテーマを変えて本誌で連載をスタート致しました。第四回目は、胆石症について解説致します。

## 1 胆石とは

胆石 (Gallstone) は胆汁の成分が凝固し胆囊内や胆管内に溜まったものをいい、その成分によって色・形状ともに多様である。胆囊炎を起こす病態の90%は胆石に起因すると言われ、胆石および胆囊炎は上腹部痛を来す急性腹症の原因としては最多である。

## 2 胆石の分類

胆石は発生する部位により、胆囊結石、総胆管結石、肝内結石に分類される。その頻度は胆囊結石が全体の84.5%を占めており、次いで総胆管結石が15%、肝内結石が0.5%である。胆囊は底部・

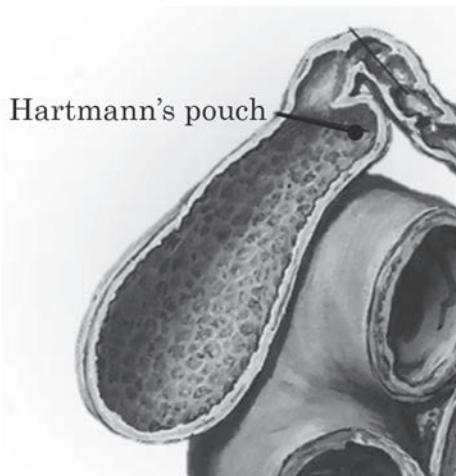


図1 Hartmann's pouch

体部・頸部に区分されるが、さらに体部と頸部の間に漏斗状部を区別することがある。この部分は Hartmann's pouch (図1) と呼ばれ、体部より頸部へ移行する囊状部でしばしば胆囊結石が嵌入する部分として知られている。

また胆石は性別別に、コレステロール結石、色素結石、稀な胆石に分類される。中でも食生活の欧米化に起因するコレステロール結石は全体の60%以上を占め、本結石はさらに純コレステロール結石、混成石、混合石に分類される。純コレステロール結石はその名の通りほぼ100%コレステロール成分で形成されているのに対し、混成石は純コレステロール結石（もしくは混合石）の周りをカルシウム塩が包み込んでいる状態で層状の剖面をもつ。混合石はコレステロール成分と色素成分が混在している状態で放射状の剖面をもつ。色素結石は黒色石とビリルビンカルシウム石に分類される。これらの発生原因としては細菌や寄生虫による感染が挙げられ、さらにビリルビンカルシウム石に関しては偏った食生活による胆汁のpH上昇にも起因すると言われる。

## 3 胆石の症状

胆石はその存在だけでは無症状であることが多く、日本人の約8%が無痛性の胆石を保有していると言われている。胆石が嵌頓し疝痛発作を起こす、または胆囊炎を起こした際に初めて症状として現れ、右上腹部痛、季肋部痛、背部痛を主訴に、

嘔吐、発熱、黄疸等を来す。また右肩甲骨下角附近に放散痛を伴う場合もある。多くの場合、脂肪の多い食事の摂取後30分から2時間以内に症状が出始める。

## 4 胆石の診断アプローチ

胆石および胆囊炎の診断を行う際、第一に心筋梗塞を否定する必要がある。その上で厚生労働省の診断ガイドラインでは右季肋部痛、圧痛、筋性防御、Murphy's signにより胆石および胆囊炎を強く疑い、発熱および炎症反応(CRP)の上昇、特徴的画像診断(超音波、CT、MR、シンチグラフィ)によって確定診断を行うとしている。Murphy's signは触診のテクニックの一つで、右季肋部を圧迫しながら深吸気させた際、痛みのために一瞬吸気が止まる所見のことをいう。さらに超音波検査時にプローブを用いて胆囊を観察しながらMurphy's signをとることをSonographic Murphy's signと呼び、有用な所見を効率的に拾い上げるテクニックとして重宝されている。また胆囊結石に関してはリスク因子として5F(①Forty:40歳代以上、②Female:女性、③Fatty:肥満、④Fair:白人、⑤Fecund:多産婦)が挙げられ、検査の事前情報として確認しておく必要がある。

血液検査項目としては総ビリルビン(基準値:0.2~1.2mg/dL)、直接ビリルビン(0.0~0.2mg/dL)、AST(9~35IU/L)、ALT(4~37IU/L)、ALP(100~325IU/L)、 $\gamma$ GTP(<50IU/dL)、総コレステロール(140~199mg/dL)のほか、グリココール酸(<50 $\mu$ g/dL)や総胆汁酸:TBA(<10 $\mu$ M)など、胆汁のうっ滞状態を示す項目などにより評価される。

また合併症として最も危険であるのは急性閉塞性化膿性胆管炎(AOSC)と呼ばれる病態である。これは総胆管結石が嵌頓し胆道内圧が上昇することでエンドトキシンを含む胆汁が血管内に逆流する状態をいい、速やかにドレナージを行わなければ敗血症、DIC、多臓器不全(MOF)に移行する。この病態の診断にはReynoldsの5徵(Charcotの3徵(発熱、黄疸、右季肋部痛)+ショック、意識障害)が有効である。

## 5 胆石の画像診断

救急時に最も優先される画像診断検査は超音波検査である。胆石の検索において非常に感度が高く、質的診断も可能である。超音波での胆石の診断は、基本的には表面の強い反射(Strong echo)とその後方の画像の欠損(音響陰影:Acoustic shadow)という特徴的な所見が見られる(図2)。また超音波検査では体位を変えながら検査することが可能で、結石の可動性も観察することができる。Strong echoやAcoustic shadowが明確でない病変においても可動性があれば結石と判断することができる。

質的診断は土屋の分類(図3)を用いて行われる。特にコレステロール結石であることが確定すれば経口胆石溶解剤(ウルソデオキシコール酸)の適用を検討するため、コレステロール結石かその他の性状かを判別することが治療方針に影響するという点で重要である。

胆囊炎の超音波所見としては、①胆囊腫大(80mm×40mm以上)、②胆囊壁肥厚(4mm以上)、③デブリエロー、④胆囊周囲液貯留が挙げられる。

CTは10%程度の胆石は写らないこともあり胆石検索のFast choiceとしてCTを選択すべきではないが、胆囊炎の評価や他疾患のスクリーニングとしては有用である。造影により、淡い石灰化結石は周囲組織の濃度と区別が困難になるため、Thin sliceでの単純CTが大原則である。造影CTは随伴する炎症の範囲、程度また膿瘍などの合併

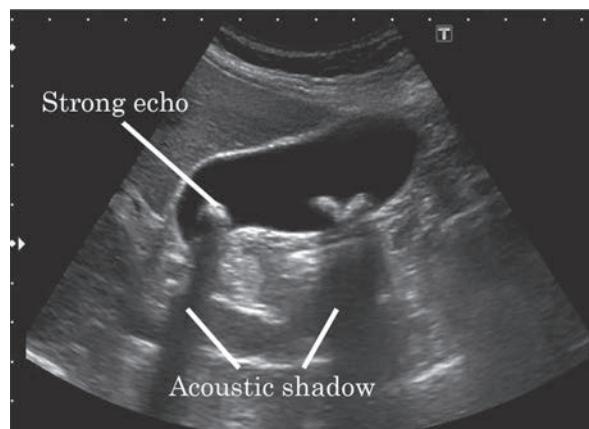


図2 胆石の超音波画像

症を評価する際に用い、門脈相が有用である。

CTで描出されない胆石としては、純コレステロール結石が代表的で、これはCT値が50HU以下であることが多く、胆汁や周囲の軟部組織に埋もれてしまうため注意が必要である。混成石はコレステロール結石とカルシウム塩が層を形成していることから、CTにおいても、中心が低吸収、周辺が高吸収の2層構造を呈していることが多い(図4)。混合石に関してはコレステロール成分と色素成分の混合比率によって結石の描出が変化するが、まれに胆石中心部の空洞がCT上星芒状の

陰影としてまとめられる“Mercedes-Benz徵候”(図5)が見られることがある。

胆囊炎を呈している場合は①胆囊腫大、②胆囊壁肥厚、③漿膜下浮腫、④周囲脂肪組織の濃度上昇、⑤胆囊周囲の液貯留、⑥胆囊に接する肝臓辺縁の濃度上昇が観察される。

MRI(MRCP)はその煩雑性や検査時間、安全性の面などから救急時に施行することが困難な場合も多いが、胆囊頸部、胆囊管結石の描出において特に感度が高い。胆石の検索にはT2強調画像が有効で、高信号の胆汁の中の無信号(void)と

	I型			II型			III型		
超音波パターン	a	b	c	a	b	a	b	c	
	4例	9		10	23	7	13	6	8
胆石剖面構造	放射状			層状			微細層状または無構造	層状	
胆石の種類	純コレステロール石   混合石			混成石、混合石   ビリルビンカルシウム石			ビリルビンカルシウム石   黒色石	 その他の 混成石	
石炭化頻度	0 %			30	73		15	83	38

図3 土屋の分類(大結石)



図4 混成石のCT画像



図5 Mercedes-Benz徵候

して観察される（図6）。ただし濃縮した胆汁もT2を減弱させ、それに埋もれた結石は検出が困難なことがあるので注意を要する。また胆汁で完全に囲まれた小結石はMIPでは原理的にどの方向から観察しても表示されないことを念頭において、必ず原画や2D画像と併せて観察する必要がある。



図6 胆石のMRI画像

## 6 結語

胆石はいわゆる「よくある疾患」であり、その診断は比較的容易である。しかし典型的な病態の裏に潜む生命に直結するような重篤な病態が少なからず存在することを認識したうえで検査・診断に臨むべきである。より正しい画像診断を行うためにはその病態に関する身体所見や病歴、血液検査データ、正常画像、鑑別診断などを正しく理解し、根拠に基づいて検査を行う必要がある。そのことが検査画像の“説得力”をより向上させると考える。

### 参考文献

- ・日本消化器病学会編：胆石症ガイドブック
- ・日本超音波医学会編：新超音波医学. 医学書院
- ・井田 正博・高木 亮・藤田 安彦 編著：すぐ役立つ救急のCT・MRI
- ・田妻 進, 菅野 啓司, 横林 賢一ほか：胆石症の病態と治療. 日本国内科学会雑誌 Vol.102 (2013) No.9 p.2460-2467
- ・田妻 進：胆石生成の機序. 胆道 21: 153-160, 2007.
- ・ネットラー解剖学アトラス原書第6版 : F.H.Netter

## 第6地区 meeting に参加して

中央医療技術専門学校 大塚竜登

今回、当校のピエゾ部という超音波検査の実習を行う部活から「超音波検査の初学者向けの学習教材作成の試み」の研究発表をさせていただきました。活動する中で、新入生に指導する際に従来の教科書を使うと、基礎知識の習得中ということもあり指導しづらく伝わりにくいことを感じていました。そこで、新入生にもわかりやすい表現を学生なりに考えた教科書を作ろう！と思ったことが研究を始めるきっかけでした。

顧問の今尾先生から、この教材を作っていることの学生発表をしようというお話をいただいて、画像の編集や文章の作成など主要部分を担当していた私が抜擢されました。人前に出て話すことが苦手で、今まで裏方として作業することが多かったので、当初は断ろうと思っていました。しかし、発表の練習をしてみると部員や先生が応援してくださり、これ程に周りが支えてくれるなら頑張ってみようかなと思うことができました。本番当日になると、緊張し

ていたのは最初だけで、演台に立って発表を始めると会場にいるたくさんの先輩方が私の方を見て相槌を打ちながら聞いてくださいました。そのことが嬉しくてたまらなくなり、発表をすることはこんなにも楽しいことだったのだなと気づきました。その後、胃、大腸バリウムのお話をしてくださった安藤健一さん、一般撮影のお話をしてくださった市川重司さんの講演を聞いて、もっと発表の回数を重ねて、会話をするようにすらすらと楽しそうに話すことができる診療放射線技師になりたいなと思いました。

先輩方の前で発表という素晴らしい経験の機会を下さった東京都診療放射線技師会の皆さまありがとうございました。そして、発表練習に夜遅くまで付き合ってくださった今尾先生、菅先生、多くの部員にはとても感謝しています。この貴重な経験を活かし、今後診療放射線技師として医学に貢献できるような研究をし、発表を重ねていきたいと思います。



## 第6地区ミーティングに参加して

博慈会記念総合病院 掛橋勇也

平成29年3月中央医療技術専門学校で開催された第6地区meeting日暮里塾ワンコインセミナーに参加させていただきました。当専門学校を去年卒業した私は少し懐かしい気持ちになりながら勉強することができました。

今回のテーマである「勉強したくともなかなかやっていない基礎的な勉強会」という内容は私のように経験年数の少ない診療放射線技師にとって、大変ためになる研修会となりました。“明日からでも試してみよう”、“次からの仕事に活かせそう”、と思える内容でこの勉強会に参加してよかったです。特に参考になったのは、一般撮影における四肢撮影に関することです。教科書には書かれていらないポジショニングのコツや、関節を広く描出するためにはどうするのかなどが、実際のポジショニングの写真とそれを撮影した画像の両方を見比べられる資料となっておりとても理解しやすかったです。また、悪いポジショニングのスライドもあり、修正する際に見るべきポイントなども教えていただき参考になりました。

セミナー内では、他にも胃・大腸バリウム検査、

学生発表、医療安全のディスカッションが行われました。透視検査では、術式の決定に繋がる客観性の高い画像を描出することが大事とおっしゃっていたのが印象に残りました。学生発表を見ることで、学生に負けないようもっと勉強をしていかなければいけないと感じました。医療安全に関しては、日々の業務で起こるインシデントやアクシデントについて考えるきっかけになりました。私自身も体験するヒヤリ・ハットを減らしていくようにしていきたいと思いました。

勉強会の良い所は、他施設の方と関わることができます。施設ごとの撮影方法を学べるのはもちろん、話を聞くことで技師共通の問題や悩みを解消するきっかけになると思います。そして、なにより、仕事に対する熱意や向上心を持った方と接することで、自分ももっと頑張ろうと思える刺激がもらえます。学んだことを仕事で活かせるよう、これからも勉強会に積極的に参加していきたいです。このような機会を設けてくださった第6地区委員の皆さん、また大変貴重なご講義をいただきました市川様、安藤様ありがとうございました。



安藤 健一 氏



市川 重司 氏

## 平成28年度 SR推進委員会(公益・災害)研修会に参加して

東京大学医学部附属病院 中村浩英

技師会研修センターで行われた研修当日は3月12日。ちょうど5年前、福島第一原発1号機の原子炉建屋が爆発した日と同じ。そして、まさに研修中の時間帯に5人の負傷者を出した。講師の武田先生が「あともう少しでその時間です」と、伝えられたときには仮想の訓練ではないな、と実感させられた。

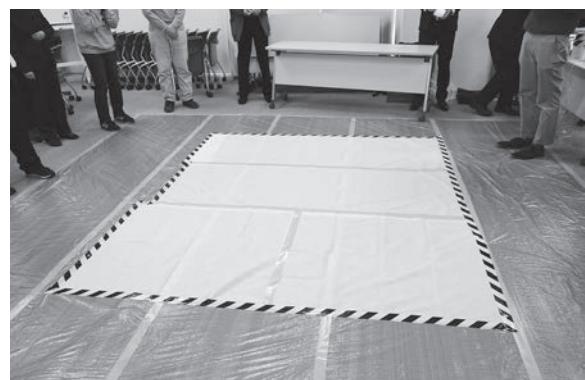
冒頭のあいさつで白木副会長が「知っている」ではなく「できる」になってもらいたい、というお話から始まった。以前に、クイックサーベイの研修会に参加させていただいたことがあった。直接業務に役立つものではないが、いざとなった時には診療放射線技師の出番となるところである。

今回は養生体験から被ばく傷病者受け入れ手順まで、実際の現場で行われる作業をより踏み込んで実習することができた。除染作業で汚染を拡大させないためには何が必要かを改めて考える良い機会となった。タイベックススーツはみな同じ姿になるので、胸と背中に名前を付けましょう。サーベイの音は不安をあおる恐れがあります。ストレッチャーの養生では予め数枚重ねておけば、表をはがすだけで次に使えます。ふき取り除染は外側から内側の方が良い

ですなど…。私自身は「できるつもり、できているつもり」でいたが、やっぱり「できる」になるためには、身をもって体験することが有意義である。最後はみんなで養生テープをはがしごみ袋へ。以上で体験実習を終了した。

とても丁寧に体験談を交えて指導していただいた講師の皆さんに感謝致します。ぜひ次回も機会があれば継続的に参加してみたい。

研修タイトルにもあった「風化させない」ことが最も大切だと思う。



## ピンクリボンウォーク2017に参加して

東京慈恵会医科大学附属第三病院 内山秀彦

平成29年3月26日（日）に日比谷公園で開催した、「ピンクリボンウォーク2017」に初めて参加させていただきました。当日は、小雨が降り気温も上がらず非常に寒い一日でしたが、日本全国から多くの方々が参加され大いに盛り上りました。

開会式では、小池百合子都知事の挨拶があり、午後には元水泳選手の萩原智子さんのトークショーやいろいろなイベントを開催していました。

東京都診療放射線技師会からは、乳がんファントムを用いた「乳がんの触診体験」のブースを設け、53名の方が足を運び38名の方に触診体験を行いました。

た。小学生から年配の方まで幅広い参加があり、乳がんに対して関心の高さを実感しました。

この日は、手や足がかじかむ程の寒さでしたが、午前中に篠原会長が来られ、文右衛門の「だいだいポン酢」とホカロンの差し入れがありました。ホカロンの差し入れは冷え切った身体を暖めるには最高の差し入れでした。

短い時間でしたが、こういったイベントを通じ技師会をアピールしていければ良いと感じました。来年こそは天候に恵まれるように切に願います。



## 第1地区研修会に参加して

三井記念病院 長谷川絢香

今回、私は3月22日に開催された第1地区研修会に参加させていただきました。「乳がん検診におけるMMGと乳腺USの総合判定」というテーマでご講演いただき、普段、乳腺USの検査に携わることのない私にとってとても有意義なものになりました。

講演では、MMGと乳腺USの基本的な説明から始まり、多くの症例画像を見ながら腫瘍や石灰化、構築の乱れなどの見え方と所見の優先度を中心にお話をしていただきました。

私は普段の業務の中で乳腺USの検査を行うことはなく、画像を見る機会が少ないため、腫瘍や石灰化がどのように見えるのかとてもわかりやすく学ぶことができました。また、MMGでは微小な石灰化は見つけやすいが、乳腺濃度が高い乳房内では腫瘍は見つけにくく、乳腺USでは微小な石灰化は見えにくいが、乳腺濃度が高い乳房内でも腫瘍を見つけることができるといった具合に、MMGと乳腺USに

はそれぞれ利点・欠点があります。このことを理解し、乳房内の乳腺量に応じて所見の優先度を考慮し、総合的に判断することでより正確な診断に繋がるのだと思いました。

現在、乳がんの注目度は上がっておりますが、MMGと乳腺USについて、乳がん検査を受ける患者さんにあまり理解されていない部分があると思います。今回の講演で学んだことを今後の乳がん検査に生かし、さらに知識を増やし、今よりも患者さんに安心して検査を受けてもらえる技師になりたいです。そしてこの春で、診療放射線技師として働き始めて1年が経ちます。今まで自分が携わる検査に関する知識を身につけることで必死でしたが、これからは自分が行う検査だけではなく他の検査にも興味を持って勉強し、さらに成長していきたいと思います。

## 筋肉スグルのビルトアップ!! ～株式会社キタジマに潜入の巻～

さあ、今回から始まった（続くとは言ってない）筋肉スグルの単独企画“筋肉スグルのビルトアップ!!”。真面目な会誌「東京放射線」を作る真面目な編集委員の中でも、異彩を放つ筋肉スグルが肉体のみならず人間として大きくなるため、筋トレばかりの引きこもり状態を打破し、外に出て見聞を広めてまいりました。昨年の理事会潜入記もご好評いただきいたと耳にしております。決して人間更生のために浅沼委員長が命じたプログラムではございません。前置きはこれくらいにして、今回はこの「東京放射線」を作成している会社“株式会社キタジマ”に潜入したワークアウト（訪問記）を報告します。

われら「東京放射線」も紆余曲折あって2月号よりキタジマさんにお世話になっています。隅々まで読んでいるコアな読者はお気づきかもしれないが、キタジマは日放技の会誌「日本診療放射線技師会誌JART」を作成している会社でもあります。日放技の会誌を長年発行しているので、とても信頼のおける会社であるが、東放技の歴史と2,000名の会員の未来を委ねるとなれば、やはりこの目で確かめてみたいということで、浅沼委員長の発案で社会科見学（視察）をする運びとなりました。

ゴールデンウィークも終わり、例年より早い初夏の様な日差しが陰り、5月らしい涼しい夕方の風に吹かれてJR両国駅西口改札に私はTシャツに汗染み

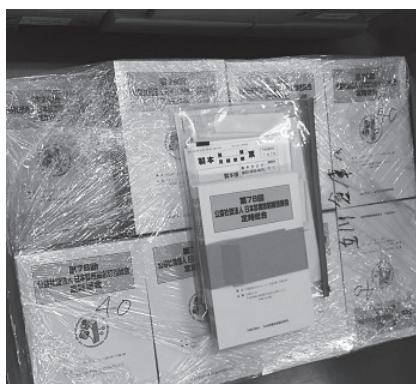
をつくりひとりたたんでいました。浅沼委員長からドレスコードの指示はありませんでしたが、やはり筋肉スグルとしてお伺いするからには、多少のパンプアップを行っての訪問

が礼儀であろうと思ったからです。そのために当日の仕事は早番にし、集合までに小一時間の時間をつくって法人会員であるルネサンス両国で背中・肩・三頭のワークアウトを実施し、名刺代わりのボディを用意しました。そんなわけで、スーツ姿のビジネスマンが帰路に着く中、あまりにも場違いな上気したTシャツ男にキタジマは訪問される結果となりました。

HPによると、株式会社キタジマは創業43年のデザイン・印刷・製版などを行う企業だそうだ。会社理念は“Think！”T：Trust 信頼される営業、H：High Quality 創造力の追及、I：Intelligence 好奇心を磨く、N：New Facility 新しい技術・技能への挑戦、K：Keeping クオリティの維持。“人がつくるものだから…。私たちも考えます。”とHPに掲げている。率直な感想は、“いいじゃないか、嫌いじゃない。”ブルース・リーは劇中で“Don't think. FEEL～！”と言っていますが、訳すと“考えるな！ 感じろ！ それは月を指差すようなものだ。指を見ていちゃ榮光はつかめないぞ！”と言っています。これは、月=目標・ゴール、指=手段ということとすると。キタジマはわれわれの目標に対して手段を提供しているのだ。なんと素晴らしい。名選手には名トレーナーを、理にかなっているではないですか。

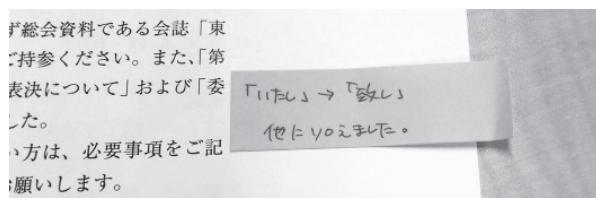


私の心はボディ以上に上気していました。そんな内外共に上気させJR両国駅から歩くこと15分、赤穂浪士で有名な堀部安兵衛の道場跡地に隣接したブロックにキタジマの本社はあります。すっかり日が落ちてしまって本社の外観をしっかり見ることはできないが、“キタジマ”の社名が入った小さな力持ちの社員さん白いフォークリフトがまず出迎えてくれました。社内に入ると、吉川営業部長に出迎えていただき、これから社内と倉庫、そして印刷・製本作業を行っている部署を案内してくれるという。まずは、少し離れた場所にあるでき上がったものが保管されている倉庫へ。8時を過ぎていたのにもかかわらず、終業せずに社員の方々はわざわざ残っていただき、われわれの質問に快く答えてくれました。そこかしこに、色々な冊子が積まれ、内容も刀剣だったり医療系のテキスト本、色んな会社の封筒だったりと、なんだか神田の古本屋（新品だけれども）にいるようで、宝探しをしているようでワクワク感を覚えました。次は、印刷と製本のビルへ移動。そこでは、まず印刷機械の音とインクの独特の匂いがお迎えてくれました。フロアごとに機器や作業が違い、機械がせわしなく動く音も違えばインクの匂いも違って、違わなかったことといえば、どのフロアも作業されている社員さんが黙々と機械と向き合っていたことです。そして、各フロアに志の高い張り紙が掲げてあってそれも目を引きました。このこともあってか、彼らと機械はまさに“静と動”に見え堀部安兵衛の道場もこのようだったのであろうかと



頭の中で勝手にシンクロが成立しました。次は、本社に戻り、各フロアの説明を受けました。打って変わってこちらはデスクトップ班とも言おうか、印刷のデータを作成する部署で無音無臭です。非常に静かで夜と蛍光灯が似合い？ 勝手に夜の仕事だなあと思いました。実際はそんなことはないのだろうけど、太陽サンサンは似合わないと思う。フロアを案内され移動するたび乗る本社ビルのエレベーターに、2019年ラグビーワールドカップの記念ナンバープレートのポスターが貼ってあり、これのデザイン・印刷もキタジマの仕事だそう。発注元は国土交通省です。ムムム、官庁の仕事を取ってこられる会社、只者ではないな。。。

さて、私は今回非常に楽しみにしていたことがありました。それはあるひとに会うことです。「東京放射線」の制作がキタジマに代わってから、“初稿の戻し”に付箋がつくようになり、そのことで非常にわれわれの作業も効率的に行えるようになりました。その付箋には、誤字や修正箇所の指摘などが書かれているのですが、付加価値的要素？ が存在するのです。個人的な意見なのですが、なんともかわいらしい字体なのです。“～にソロえました。”なんだろう、心がくすぐったい感じがするのです。“そろ”を“ソロ”って書くところがまたイイっ!! これが“萌え”という奴なのか～!。昔から“字は体なり”と申し



ますが、妄想膨らむイヤラシ筋肉が勝手に女性と決めつけお会いできるのを楽しみにしていたのです。いよいよ、東京放射線担当デスクへ。“!!!”なんと担当者は三名おり、そのうち女性はひとり。言葉は悪いが、オジサンに萌え心を抱いていて、本物の筋肉バカになるのだけは避けたい。恐る恐る付箋の主を探るが“想像にお任せします”ということで言及は避けられてしまった。音楽の先生のような華奢で可憐な方が付箋の主と勝手に決めつけ、ここは収めることとした筋肉スグルであります。

今回の訪問で分かったことは、キタジマがわれわれ東京放射線に真摯に向き合い作成しているということだ。これを口で言うのは簡単だが、デザイン・印刷・製本そして発送とお会いした社員の方々を見て私が率直に感じた気持ちである。私の目に狂いはないと思う。きっと、われわれの未来のために、キ

タジマの社員の方々は一丸となって力を貸してくれることだろう。私たち東京都診療放射線技師会も負けてはいられない。

最後に、お忙しいにもかかわらず会社を挙げてのお出迎えをありがとうございました。これからも、東京放射線をよろしくお願い致します。

筋肉スグル



## JMB 医療スタッフ随時募集中!!

診療放射線技師・看護師・保健師・臨床検査技師・薬剤師・歯科衛生士・管理栄養士

当社は、今迄数多くの病院・医療機関等より要請を承っております。勤務の内容や時間帯、単発的なアルバイトや転職など、皆さまのご希望に合わせてお仕事をご紹介いたします。

医療スタッフを随時募集しております。ご友人などのご紹介も随時受け付けております。

★まずはお気軽にご連絡下さい。詳しくご説明させて頂きます。

★登録・紹介料は不要です。

★受付時間 平日 9:00 ~ 17:30  
土曜日 9:00 ~ 13:00  
(日曜日・祝祭日休み)

株式会社ジャパン・メディカル・プランチ  
フリーダイヤル 0120-08-5801

〒134-0088 東京都江戸川区西葛西6丁目17番5号 TEL: 03-3869-5801

URL: <http://www.jmb88.co.jp> FAX: 03-3869-5802 E-mail: [info@jmb88.co.jp](mailto:info@jmb88.co.jp)

一般労働者派遣事業許可 般13-301371 有料職業紹介事業許可 13-ユ-130023

## 平成29年度 第1回関東Angio研究会 第4回血管撮影教育セミナー（撮影技術の基礎）

日本放射線技術学会関東支部 関東Angio研究会

関東Angio研究会主催の「第4回血管撮影教育セミナー」を平成29年7月23日（日）に開催します。

関東Angio研究会では、血管撮影に携わるカテーテルスタッフの育成として、IVR技術の多様化や専門化に伴う高度な知識の学習だけではなく、これらを学ぶ上で欠くことのできない基礎教育も必要と考え本セミナーを企画しました。皆さまの施設での育成プログラムの一助として、これから血管撮影検査・IVRを担う人材に必要な基礎知識を集中的に学び習得していただくことを目的としています。

血管撮影室にこれから配属される会員、従事して間もない会員から専従の会員まで、多くの皆さまに参加いただけますようご案内します。

なお、本講習会に参加された方には、各種専門技師認定機構の認定のための単位が取得できます。

日 時：平成29年7月23日（日）10:00～16:30  
会 場：NTT東日本関東病院 4階 カンファレンスルーム  
〒141-8625 品川区東五反田5-9-22 TEL 03-3448-6111  
[交通アクセス] JR山手線「五反田」駅下車 徒歩7分  
都営地下鉄浅草線「五反田」駅下車 徒歩5分

詳細は <http://www.ntt-east.co.jp/kmc/access/index.html> をご覧ください。

テー マ：第4回血管撮影教育セミナー（撮影技術の基礎）

募 集 定 員：100名

参 加 費：会員3,000円 非会員5,000円

申込開始：平成29年6月19日（月）～（先着順、定員になり次第募集終了とします）

申込方法：関東支部ホームページ（<http://jsrt-kanto.org/>）の申込フォームよりお申し込みください。

プログラム：（予定）

10:00～10:05 開会式  
10:05～10:55 血管撮影に必要な情報収集と接遇  
11:00～11:50 頭頸部領域の撮影技術とIVR  
12:10～12:40 ランチョンセミナー1（企画中）  
12:40～13:10 ランチョンセミナー2（血管撮影担当技師が担う医療安全の基礎）  
13:30～14:20 心臓領域の撮影技術とIVR  
14:25～15:15 腹部領域の撮影技術とIVR  
15:30～16:20 骨盤・下肢領域の撮影技術とIVR  
16:20～16:30 閉会式

そ の 他：詳細は、関東支部ホームページ（<http://jsrt-kanto.org/>）でご確認ください。

問い合わせ先：横浜市立大学附属市民総合医療センター 放射線部 石川 栄二

E-mail：[cqa10233@yokohama-cu.ac.jp](mailto:cqa10233@yokohama-cu.ac.jp)

後 援：茨城Angio研究会、茨城カテーテル治療コメディカルフロンティア研究会、

神奈川アンギオ撮影研究会、埼玉心血管コメディカル研究会、循環器画像技術研究会、

千葉アンギオ技術研究会、栃木県カテーテル室スタッフ研究会（五十音順）

## 超音波画像研究会

<http://us-image.kenkyuukai.jp/>

### 第250回定例会 ~25周年記念講演・祝賀会~

日 時：平成29年7月30日（日）（受付13時30分～）

会 場：葛飾シナフォニーヒルズ別館レインボーホール（東京葛飾区立石六丁目33番1号）

教育講演（14:10～）

「放射線業務のなかの超音波検査」 横須賀市立うわまち病院 小原 和史 君

特別講演1（14:50～）

「画像検査の明日～後腹膜エコー診断から考えて～」 PL東京健康管理センター 桑島 章 先生

特別講演2（16:00～）

「画像検査の明日～消化器画像検査の見地から～」 東京ミッドタウンクリニック 森山 紀之 先生

祝賀会（17:30～） 葛飾シナフォニーヒルズ別館 メヌエット（2F）

講演参加費：会員500円、準・非会員…1,000円

祝賀会参加費：会員・準会員・非会員…6,000円

※ 講演の参加には事前登録は必要ありません。

※ 祝賀会の参加は事前に事務局まで電話、E-mailにてご連絡お願い致します。

問い合わせ先：中央医療技術専門学校 菅 和雄、今尾 仁 あて

TEL：03-3691-1879（16時30分～18時00分）

超音波画像研究会 事務局

E-mail：us.image.workshop@gmail.com

## 南関東FRT第3回研修会

南関東地域女性技師の会

【南関東FRT(Female of Radiological Technologist)】です。

女性だけでなく男性技師も参加OKです。

地域を超えて広く楽しく情報交換いたしましょう。

日時：平成29年8月19日(土) 15:00～18:00

場所：公益社団法人 東京都診療放射線技師会 研修センター

参加費：会員500円 非会員1000円

<プログラム>

1. 15:15～15:45

「いまさら聞けない乳房撮影のコツ！」

聖マリアンナ医科大学ブレスト&イメージングセンター 後藤 由香先生

2. 15:45～16:30

「若年性・遺伝性乳がんについて」

～若い女性の相談にどう答えますか？～

聖路加国際病院 乳腺外科部長 山内 英子先生

3. 16:30～17:15

「医療現場におけるコミュニケーション学」

拓殖大学 商学部教授 長尾 素子先生

～ 休憩 15分 ～

4. 17:30～18:00

全体討議 「女性が楽しく仕事と育児をこなすためには！」

参加希望を記載の上、7月31日までに  
下記へお申し込みください。(定員80名)

お申し込み : [tanpopo\\_frt@live.jp](mailto:tanpopo_frt@live.jp)

主催：(公社)日本診療放射線技師会 (公社)東京都診療放射線技師会

(公社)神奈川県放射線技師会 (一社)山梨県診療放射線技師会

(一社)長野県診療放射線技師会 (一社)千葉県診療放射線技師会

# Pipe line

パイプライン

第33回



# 日本診療放射線技師 学術大会

The 33rd Japan Conference of  
Radiological Technologists (JCRT)

第24回東アジア学術交流大会

The 24th East Asia Conference of  
Radiological Technologists (EACRT)

国民と共にチーム医療を推進しよう

Let's promote team medical care with the nation

## 未来への開港 一技の継承と飛躍—

Open a Port to the Future: The Succession and Progress of Techniques



会期  
Date

2017年9月22日(金)～24日(日) September 22nd(Fri)-24th(Sun), 2017

会場  
Venue

函館市民会館・函館アリーナ

Hakodate civic hall / Hakodate arena

会長  
President

中澤 靖夫 (公益社団法人 日本診療放射線技師会 会長)  
Yasuo Nakazawa (The Japan Association of Radiological Technologists)

大 会 長  
Chairman

板東 道夫 (一般社団法人 北海道放射線技師会 会長)  
Michio Bando (The Hokkaido Association of Radiological Technologists)

主催  
Host

公益社団法人 日本診療放射線技師会  
The Japan Association of Radiological Technologists

共 催  
Cosponsor

一般社団法人 北海道放射線技師会  
The Hokkaido Association of Radiological Technologists

運営事務局  
Secretariat

株式会社コンベンションワークス 〒003-0809 札幌市白石区菊水9条3丁目1-17 TEL:011-827-7799 FAX:011-827-7769 E-mail:jcrt33@c-work.co.jp  
Convention Works Corporation 1-17, 3-chome, Kikusui 9-jo, Shiroishi-ku, Sapporo, 003-0809 E-mail:jcrt33@c-work.co.jp

<http://c-work.co.jp/jcrt33/>



# 会員動向

平成29年度5月期

年 月	月末会員数	新 入	転 入	転 出	退 会
平成28年度末集計	2,077	205	22	16	174
平成29年 4月	2,101	31	3	3	7
平成29年 5月	2,116	18	3	2	4

## イエローーケーキ

### ハートをすっきゅんキュン

シーズンまったく中のH.Iさんは釣れているのかしら。釣りと言えば私の曾祖父の趣味も釣りでした。利根川本流の近くだったこともあって、ヘラブナ釣りに凝っていたみたい。田舎の田舎に住んでいた私は小学校へバス通学していたのだけれど、釣り帰りにバス停で待っていてくれたのは嬉しかったなあ。釣り道具を括り付けたカブの荷台に私を乗せて家までの5分のドライブ。どこからもらってきたかわからない愛用の内田工務店ジャンバーの川魚臭さが嫌だつたけど今ではいい思い出。

今回のイエローはノスタルジックな曾祖父との昔話と思ったでしょ。そうはいかないわ。私の趣味はクレー射撃。これについて書いちゃう。ひょんなことから始めることになったのだけれど、これも引合わされたのかなと今では思ってる。冒頭にも書いたけど、私の住む場所は利根川本流の近くで、田舎の田舎。釣りも盛んだけれど変わった風物詩？ があった。それはカモ猟。カモ猟というか、散弾銃の薬きょう。バス停からの帰り道にも手袋が必要となる時期になると道端の唐草の中に赤や緑、青のプラスチックの筒が目につくようになるの。それが散弾銃の薬きょう。たまに実包（発射されていない銃弾）もあって持って帰ったりしたっけ。今思えば捕まっちゃうしハンターのマナーも最悪よね。叔父も狩猟をしていて、塩コショウで辛く味付けした鴨肉のおすそ分けを持ってきてくれるんだけど、硬いしたまに鉛が入ってるしで、今流行のジビエってやつなんでしょうけど子供の私はあまり好きじゃなかったわね。今は干拓も整備されちゃったし、叔父さんも亡くなっちゃったから酒の肴になんて出来ないのね。結局ちょっとおセンチになっちゃったりして。そんなわけで、幼少から散弾銃は遠くない存在だったってわけ。

あっ文字数の制限過ぎちゃった。クレー射撃についてはググってね。また会う日まで～。

デューク東郷TOMOKO

# News

7・8月号

日 時：平成29年5月2日（火）  
午後6時45分～午後8時00分  
場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所  
出席理事：篠原健一、白木 尚、石田秀樹、野口幸作、  
市川重司、鈴木雄一、安宅里美、高野修彰、  
関 真一、浅沼雅康、齊藤謙一、竹安直行、  
平瀬繁男、高橋克行、市川篤志、崎浜秀幸  
出席監事：葛西一隆、野田扇三郎  
指名出席者：関谷 薫（第2地区委員長）、稻毛秀一（第5地区委員長）、富丸佳一（第7地区委員長）、鎌田修（第8地区委員長）、澤田恒久（第10地区委員長）、千葉利昭（第11地区委員長）、鈴木 晋（第12地区委員長）、宮谷勝巳（第14地区委員長）、渡辺靖志（SR推進委員長）  
欠席理事：江田哲男、長谷川雅一、原子 満、工藤年男  
議 長：篠原健一（会長）  
司 会：白木 尚（副会長）  
議事録作成：鈴木雄一（総務委員長）、村山嘉隆（総務委員）

## 前回議事録確認

前回議事録について確認を行ったが修正意見はなかった。

## 理事会定数確認

出席：16名、欠席：4名

## 会長挨拶

毎年この時期は年度が替わり総会、前年度の締めや今年度の事業計画が始まる。総会準備など立て続けにいろいろなことがあり大変に慌ただしいが、また皆さまのご協力をいただきながら進めたい。4月26日に平成28年度の期末監査が開催され、無事終了した。監事の先生方にしっかりと評価をして指導をいただいたところである。後ほど報告していただく。

## 女性活躍推進アンケート報告

能勢厚生調査委員：日本診療放射線技師会女性活躍推進班より依頼のあったアンケートについて、東京都診療放射線技師会より88名の協力をいただいた。南関東女性技師会でまとめたものを6月24日に関東甲信越診療放射線技師学術大会のシンポジウムにて報告予定である。今回は急なアンケートにも関わらず多数のご協力に感謝する。

## 報告事項

### 1) 会長

・4月22日の日本診療放射線技師会第1回理事会での中澤会長の三つの話を紹介する。

一つ目は指定規則の改正についての施設協議会との協議について

二つ目は診療看護師の養成、ナースプロテクショナーについて

三つ目は新しい大学、専門学校の設置の報告

### 2) 副会長

白木副会長

・活動報告書に追加なし。

石田副会長

・活動報告書に追加なし。

### 3) 業務執行理事

総務：鈴木理事

・活動報告書に追加なし。

経理：関理事

・活動報告書に追加なし。

庶務：野口理事

・活動報告書に追加なし。

### 4) 専門部委員会

・活動報告書に追加なし。

### 5) 支部・地区委員会

・活動報告書に追加なし。

### 6) 特別委員会等

・活動報告書に追加なし。

### 7) その他・研修センター申請・事業報告

・活動報告書に追加なし。

## 議 事

### 1) 平成28年度事業報告

浅沼編集委員長：「業務拡大に伴う統一講習会」が一部、「業務“範囲”拡大…」になっていたため修正し、また曜日と日付に整合性が取られていない箇所や、イベントの参加人数が合わないところは総務委員会と協力し

て修正した。説明文にある文言はそのままになっている。

上記について審議した。

【承認：16名、保留：0名、否認0名】

2) 平成28年度決算報告

・決算報告書に追加なし。

上記について審議した。

【承認：16名、保留：0名、否認0名】

3) 平成28年度監査報告

代表して葛西監事：

事業報告等の監査結果

- ・事業報告は法令及び定款に基づき法人の状況を正しく示しているものと認める。
- ・理事の職務の執行に関する不正行為又は法令もしくは定款に反する事実は認められない。

決算書類及びその付属明細書ならびに財産目録の監査結果

- ・法人の財産及び損益の状況は重要な点において適切に示しているものと認める。

要望

- ・一部の書類に不備が見られたので管理の徹底をお願いしたい。
- ・会計書類に関しては、現段階で問題ないが、全役員が非常勤という体制の下での、現金および預金の入出金などに関する管理について、明確なルールがあったほうが良いと考えるので検討をお願いしたい。
- ・イベントなどの使用機器に関してレンタルを行っているが、初期トラブルなどがみられるので購入を視野に検討をお願いしたい。

上記について審議した。

【承認：16名、保留：0名、否認0名】

4) 総会5号議案 定款改正(案)について

野口定款諸規程等検討委員長：都庁から意見を求められた件についてまとめた。4月の理事会で承認いただいた部分を参考資料として配布した。

上記について審議した。

【承認：16名、保留：0名、否認0名】

5) 事業申請について

①第68回日暮里塾ワンコインセミナー

テーマ：早期胃がん(微細病変の描出手技)

日 時：平成29年7月5日(水) 19時00分～20時30分

場 所：東京都診療放射線技師会研修センター

上記開催について審議した。

【承認：16名、保留：0名、否認：0名】

②平成29年度城東支部研修会

テーマ：デジタルシステムの撮影条件について

～アナログシステムからCR、FPDシステムへ～

日 時：平成29年7月21日(金) 19時00分～20時30分

場 所：東京都診療放射線技師会研修センター

上記開催について審議した。

【承認：16名、保留：0名、否認：0名】

6) 新入退会について

4月：新入会31名、転入3名、転出3名、退会7名

上記について審議した。

【承認：16名、保留：0名、否認0名】

7) 当日における追加議事：学術教育委員会作成の用語集冊子に関して

市川学術教育委員長：以前からお話をしていた用語集ができるので紹介、報告および承認をお願いしたい。

上記について審議した。

【承認：16名、保留：0名、否認：0名】

## 地区質問、意見

第9地区：市川委員長

・厚生調査の「業務調査依頼」ですが調査項目も多く、地区委員が所属長にお願いするというのは難しいという意見がでた。それに対し「地区委員長が直接施設長にお願いします」としたが、きちんと日放技(または東放技)から各施設長にお願いするべきではないかという意見がでた。また、4月の忙しい時期ではなく、6月7月のほうが良いのではという意見もあった。

篠原会長：日本診療放射線技師会から、各都道府県の個別の施設に送るのはデータ上困難であるため、各都道府県にお願いがきたという形になる。われわれ診療放射線技師の正しい評価のためということで、できるだけご協力ををお願いしたい。

第16地区：工藤委員長(欠席のため、代理 第6地区 高橋委員長)

・第1回理事会庶務報告と理事会議事録で、「会員数が60名ほどの違いがあっと」との報告であるが29年2月末数から計算すると98名の差異ではないか？ またどの時点から人数の差異が生じていたのか？ 経理的に100万の差異が有って大丈夫なのか。

野口庶務委員長：事務に再度確認した結果98名の差異が発生していた。訂正してお詫びする。どの時点からというのは調査した結果からは判断できなかった。

篠原会長：会員全員が年度内に会費を納入するとは限らないので、経理の方では会員数ではなく、例年の実績などをみて予算を組んでいるため予算上の不具合は発生しない。今後、適切な管理に努めていきたい。ご理解とご協力ををお願いする。

・最近、技師会マーク入りのノベルティグッズが置いてあるが、購入された物なのか？ どこかからの寄贈な

のか？　どのような経緯で作成したのか（理事会承認事項か？）？　どこで配布する予定なのか？  
・現在地区活性化資金は10年ほど前から経費削減を実施中、もし上記の費用が有るなら、地区活性化資金の増額を求める。地区年間1万円では講師費用、郵送費も出せない。

篠原会長：主に公益社団法人としての広報活動の一貫として作ったグッズである。広報委員会の活動や、地区や支部での都民を対象にした事業を行う際に活用していただければ幸いである。また他のグッズなどアイディアがあれば、ぜひお寄せいただきたい。単体で金額が高額なものではないので執行部の判断で購入したものであり、理事会承認を行ってはいない。単体で十万円を超えるものを目安として理事会承認を得ることとしている。

公益社団法人の公益活動経費に地区活性化資金も含まれるが経費の拠出目的が違うため、単純に流用するような性質のものではないことはご理解いただきたい。地区活性化資金は、各地区の会員数と東京都診療放射線技師会との全体の会員数と勘案して見直しすることは答かではない。

#### 連絡事項

高野涉外委員長：小野賞受賞者に対しての確認に深く感謝する。先月の4月29日に春の叙勲の発表があったので、報告させていただく。

安宅情報委員長：以前に地区の紹介ページの更新記事をくださいとお願いしたが、原稿を頂いた地区の更新は行った。お礼を申し上げる。原稿を頂いていない地区からも、まだ入稿を待っているので、よろしくお願いしたい。6月8日の第66回日暮里塾ワンコインセミ

ナーでは、サイバー攻撃のデモも行うので、奮っての参加をお願いしたい。

関経理委員長：地区活性化資金を来月の理事会で精算する。領収書と残金を持参願いたい。

市川学術教育委員長：平成28年度の学術が主催した研修会や講習会における参加者状況をまとめた。地区的参加状況を見ていただき、各地区で参考にしていただければ幸いである。ペイシエント学術大会のポスターが完成した。広報と参加の協力をよろしくお願ひしたい。フレッシャーズセミナーが5月28日と6月11日にあるので、こちらも協力をお願ひしたい。

浅沼編集委員長：会誌5月号は、本日の理事会決議すべての総会議案が可決されたため、ゴールデンウィーク中に印刷作業に入り、月曜日の5月8日に発行可能となる予定である。その後5月10日に郵送が開始される。平成28年度分の会誌に掲載した印象記執筆者へ謝礼のQUOカードを用意できたので配付する。

研修会の印象記を書いていない地区がいくつもあるので、本年度はぜひ書いていただきたい。編集委員会も協力するのでよろしくお願ひしたい。入稿の際は、写真も一緒にぜひお願ひしたい。

鈴木総務委員長：書面表決のハガキを配布した。総正会員の3分の2以上の賛成が定款改正には必要となるため、声掛けをお願いする。また投函期間も短いため、早めの声掛けをお願いしたい。

#### 今後の予定について

白木副会長：今後の予定はエクセル表で更新されていますので、何かありましたら、ご指摘いただければ幸いである。

以上

## 学術講演会・研修会等の開催予定

日時、会場等詳細につきましては、会誌でご案内しますので必ず確認してください。

### 平成29年度

#### 1. 学術研修会

☆第16回サマーセミナー 平成29年9月2日(土)

第20回メディカルマネジメント研修会 平成29年11月

☆第16回ウインターセミナー 平成30年1月

#### 2. 生涯教育

第61回きめこまかな生涯教育 平成29年10月

第62回きめこまかな生涯教育 平成30年2月

#### ☆3. 日暮里塾ワンコインセミナー

第68回日暮里塾ワンコインセミナー 平成29年7月5日(水)

第69回日暮里塾ワンコインセミナー 平成29年8月24日(木)～25日(金)

第70回日暮里塾ワンコインセミナー 平成29年8月29日(火)～30日(水)

第71回日暮里塾ワンコインセミナー 平成29年9月16日(土)

第72回日暮里塾ワンコインセミナー 平成29年9月27日(水)

#### ☆4. 第17回東放技・東京部会合同学術講演会

#### 5. 集中講習会

第10回MRI集中講習会 平成30年2月

#### ☆6. 支部研修会

城東支部研修会 平成29年7月21日(金)

城南支部研修会 平成29年10月14日(土)

城北支部研修会 平成29年10月27日(金)

城西・多摩支部研修会

#### 7. 地区研修会

第4地区研修会 平成29年8月18日(金)

#### 8. 特別委員会研修会

SR推進委員会研修会 平成30年3月

#### 9. 地球環境保全活動

荒川河川敷清掃活動

日暮里駅前清掃活動

富津海岸清掃活動

### 関連団体

平成29年度第2回業務拡大に伴う統一講習会 平成29年7月8日(土)～9日(日)

超音波画像研究会定例会 第250回定例会 平成29年7月30日(日)

南関東FRT 第3回研修会 平成29年8月19日(土)

平成29年度第3回業務拡大に伴う統一講習会 平成29年9月16日(土)～17日(日)

第33回日本診療放射線技師学術大会 平成29年9月22日(金)～24日(日)

平成29年度第4回業務拡大に伴う統一講習会 平成29年11月11日(土)～12日(日)

平成29年度第5回業務拡大に伴う統一講習会 平成30年1月20日(土)～21日(日)

平成29年度第6回業務拡大に伴う統一講習会 平成30年3月3日(土)～4日(日)

☆印は新卒かつ新入会 無料招待企画です。

(新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう)

# 公益社団法人 東京都診療放射線技師会 研修会等申込書

研修会名	第 回	
開催日	平成 年 月 日( ) ~ 月 日( )	
会員/非会員 (必須)	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/> 一般 ※ 日放技会員番号(必須) [ ] <input type="checkbox"/> 新卒かつ新入会の方はチェック	
所属地区	第 地区 または 東京都以外 [ ] 県	
ふりがな		
氏名		
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性	
連絡先	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 施設 ⇒ 施設名 [ ]	
	TEL (必須)	
	FAX	
	メール (PCアドレス)	
備考		

FAX 03-3806-7724  
 公益社団法人 東京都診療放射線技師会 事務所

## 登録事項変更届

公益社団法人東京都診療放射線技師会 殿

公益社団法人日本診療放射線技師会 殿

会員番号			
氏名	印		
氏名(カタカ)			
性別	男性・女性		
生年月日	昭和	平成	年 月 日生
メールアドレス			

下記のとおり、登録事項の変更をお願い申し上げます。

氏名の変更

改姓(変更後の氏名)
------------

送付先変更

現在の送付先	勤務先・自宅
新送付先	勤務先・自宅

住所等の変更

新勤務先	勤務先名	部署
	勤務先所在地	〒 一
	電話	
旧勤務先		
新自宅	現住所	〒 一
	電話	
旧自宅住所		

その他

通信欄	
-----	--

受付  
確認平成 年 月 日  
平成 年 月 日 印



## 思いが重なる、 未来がある。

より多くの安心と笑顔が生まれる医療環境をサポートしたい。  
目立は、放射線治療に関わるすべての人々のために、  
信頼性の高いトータルソリューションをご提供します。

**HITACHI**  
Inspire the Next

放射線治療計画ソフトウェア

 **RayStation**

The Future of Treatment Planning is here

～最先端機能を搭載した新たな放射線治療計画システム～  
3D-CRT, IMRT, VMAT, 4D, Adaptive Radiation Therapy  
まで革新で高度な最適化機能により幅広い放射線治療を  
実現します。



放射線治療装置



**トモセラピー Hシリーズ**

Reshaping Radiation Therapy

～放射線治療装置の新しいカタチ～  
トモセラピーは、放射線治療を広範囲にカバーし、  
正常組織のダメージを抑えながら、腫瘍に集中的に  
照射することができます。

放射線治療計画ソフトウェア  
 **Pinnacle<sup>3</sup>**



Leadership in simulation & planning

～更なる正確性・操作性・効率性を追求～  
定評のある高精度な線量計算アルゴリズムに加え、  
回転IMRT対応 SmartArc（スマートアーケ）を搭載。

© 株式会社 日立製作所 [www.hitachi.co.jp/healthcare](http://www.hitachi.co.jp/healthcare)

**TOSHIBA  
MEDICAL**

Aquilion ONE は、Aquilion ONE を超え、生まれ変わる。

### 新世代320列Area Detector CT

さらに低被ばく、高画質なADCTへ

### Genesis of Image Quality

さらに速く、使いやすいADCTへ

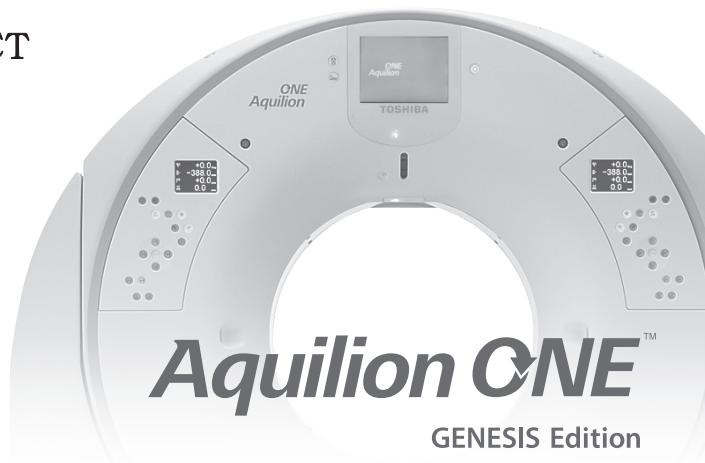
### Streamlined Workflow

より美しく、洗練されたADCTへ

### Patient Centric Design

**東芝メディカルシステムズ株式会社**

本社 〒324-8550 栃木県大田原市下石上 1385 番地  
<http://www.toshiba-medical.co.jp>



認証番号: 227ADBZX00178000 東芝スキャナ Aquilion ONE TSX-305A

# Postscript

私 事ではありますが、先日の第68回東放技定期総会にて小野賞をいただきました。

小野賞は、地区での活動や、専門部での活動を評価していただいて授賞される賞とのことです。

私は、編集委員会に携わるようになって今年で18年になります。最初は職場の先輩のところに「誰か編集委員会を手伝ってくれる人は居ないか?」との連絡があったことがきっかけでした。編集もさることながら技師会活動に関わることもここがきっかけでした。

編集委員とはいっても当然のことながら全員が診療放射線技師であり、編集のことなど全く知らなかったことが今は多少なりともその知識がついたような気がします。また、ご存知のように編集委員会は会誌「東京放射線」を刊行していく形のあるものを残しているのですが、実際に“表”に出る機会は少なく、会務の中では“影”的存在と思われていますし、実際に私もそうだと思います。

一方、技師会などの活動をしていると、職場以外の人たちとの繋がりが増えて、そこから人脈が広がっていく、とよく言われます。私も全く同感で、前述のように“影”的会務をしていても、技師会のさまざまなイベントなどで多くの技

師の方々と顔を合わせる機会が増えてくるようになります。最初は形式張った挨拶だったものが、自然に挨拶をするようになり、世間話をするようになって、親しくなっていく、というパターンにはまりました。お陰で、私も沢山の方と知り合いになって、助けられながら今日までこられたと思っています。

今回の受賞に際しましては、これまでご指導いただいた小田 元委員長(現 日放技理事)、平田 前委員長(現 日放技編集委員)、浅沼 現委員長(東放技理事)をはじめ、一緒に委員会活動を行ってきた委員諸氏に感謝しております。

最後に、このような賞をいただいたので、これを花道に編集委員を退こうかとの思いもあり、委員会の席でボロッとこぼしたら、“何を言っているのだ!”との意味を含んだ鋭い視線を一斉に向けられました。時に厳しく、たまには優しく、ちょっぴり言うことを聞いてくれながらも私をリスペクトしてくれ、一緒に頑張ってくれている編集委員の仲間と、もう少し活動をさせてほしいな、と今は素直に思います。今後も私と「東京放射線」を宜しくお願い致します。

<tenai>

## ■ 広告掲載社

コニカミノルタジャパン(株)  
(株)ジャパン・メディカル・ブランチ  
東芝メディカルシステムズ(株)  
(株)日立製作所  
富士フイルムメディカル(株)  
エレクタ(株)

## 東京放射線 第64巻 第7号

平成29年6月25日 印刷(毎月1回1日発行)

平成29年7月1日 発行

発行所 東京都荒川区西日暮里二丁目22番1 ステーションプラザタワー505号

〒116-0013 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

発行人 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

会長 篠原 健一

編集代表 浅沼 雅康

振替口座 00190-0-112644

電話 東京(03)3806-7724 <http://www.tart.jp/>

事務所 執務時間 月～金 9:30～17:00

案内 ただし土曜・日曜・祝日および12月29日～1月4日までは執務いたしません

電話・FAX (03)3806-7724

## 編集スタッフ

浅沼雅康

内藤哲也

岩井譜憲

森 美加

高橋克行

田沼征一

山崎綾乃